

# 林学

キャリア

新人♡  
**新採用**  
1年目

若手♫  
**技師級**  
2～10年目程度  
(20～30代前半)

中堅♪  
**主任級**  
(主任林業普及指導員 等)  
10～15年目程度  
(30代中盤)

サブリーダー♫  
**主査級**  
(主査林業普及指導員 等)  
15～20年目程度  
(30代後半～)

グループリーダー♫  
**主任主査級**  
(上席林業普及指導員 等)  
20～25年目程度  
(40代中盤～)

管理監督者♫  
**担当課長～**  
25年目以降  
(40代後半～)

主な職名：林業普及指導員、専門研究員 等

主な配置先：農林水産部林業振興課・森林整備課・森林保全課、広域振興局農政部・農林部（各振興センター・林務室）、林業技術センター 等

県職員としての土台づくり。  
知識経験をしっかり吸収。

様々な分野を経験。実務  
の中核として活躍。

視野を広げながら担当業務  
を推進。後輩もフォロー。

幅広い視野で業務を推進。  
チームの要として活躍。

チームを引っ張り、県  
の政策・施策を立案。

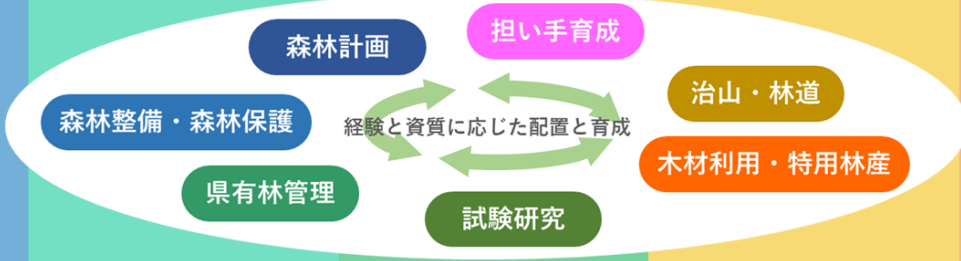
豊富な知識・経験で  
組織をマネジメント。

- ・林業関係法令の基礎知識
- ・補助事業に関する法令、審査等の基礎知識
- ・治山、林道工事、森林整備の設計、施工に関する法令、基準等の専門知識

- ・関係機関等との折衝・交渉力
- ・許認可等申請者に対する適切な指導力
- ・特定の分野の高度な知識、判断力、指導力

- ・関係機関等との折衝・交渉力
- ・林業に関する技術面での専門知識
- ・複数分野の高度な知識、専門分野における豊富な経験・知識・チームリーダーとしての任務を遂行する能力

- ・管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力
- ・これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮
- ・人材育成能力



💡 若手職員の配置  
必要な技術・知識の習得と適性把握のため、複数の職場（本庁と広域振興局等）での勤務を経験

職員育成（主な研修）

- 農林水産部会計事務担当職員研修
- 農林水産部新採用職員研修
- 地域林政アドバイザー養成研修
- 林業特技研修（伐採技術、森林保護、原木しいたけ栽培 等）、森林クラウド研修等
- 県有林業務担当者基礎研修
- 県有林業務担当者技術討議会参加
- 治山林道新任者研修会
- 治山林道事業検査員研修、治山林道技術林地開発討議会参加
- 林地開発・保安林基礎研修
- 【外部】派遣研修（林野庁森林総合研修所主催研修、東北森林管理局主催研修）

💡 育成方針：職場を離れて受講する研修（Off-IT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせる育成

注1：各職位の目安（○年目）は大卒程度を想定したものです。注2：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。